学則の変更の趣旨等を記載した書類

１．学則変更（収容定員変更）の内容

鹿児島大学医学部医学科の入学定員110名については、平成21年度に「経済財政改革の基本方針2008」に基づき５名の恒久定員増、同年度に「緊急医師確保対策」により５名、平成22年度に「経済財政改革の基本方針2009」により10名、平成23年度に「新成長戦略」による歯学部入学定員の削減を行う大学の特例(以下「歯学部振替枠」という。)により２名、令和２年度に地域の医師確保等の観点により３名、令和５年度に歯学部振替枠の廃止に伴い２名のそれぞれ臨時定員増を実施した。

今回の入学定員増20名は、令和５年度までの臨時定員増を維持するものであり、これにより令和６年度の入学定員が110名となる。

２．学則変更（収容定員変更）の必要性

鹿児島県は、南北600㎞におよび、多くの離島へき地を抱える地域特性（有人離島28、離島人口15万人）があり、広い県土内での医療者の偏在が顕著である。また、全国に先駆けて高齢化が進展し、医療需要が高止まりする中、医療需要に応じた医師偏在対策が重要な課題となっている。

この深刻化する地域の医師不足の現状に対処し、効率的・安定的な医師配置を図るため、鹿児島県は本学や県医師会等の関係者と協力して、地域に必要な医師配置の方向性を示した「地域医療支援方策（平成24年３月）」を定めるとともに、「鹿児島県保健医療計画（平成30年３月）」を策定し、医師の地域的偏在や特定診療科の医師不足を解消するため、関係機関が一体となって総合的な医師確保対策に取り組んでいるところである。さらに、鹿児島県は「鹿児島県医師確保計画（令和２年３月)」を策定し、医師偏在指標に基づく医師確保の方針、確保すべき目標医師数及び目標の達成に向けた施策内容といった一連の方策を定め、取り組んでいるところである。

地域枠医師は、医師不足に悩む市町村や医療機関が着実に医師を確保できる手段として、特に地方から強い要望があり、医師偏在是正を講じる上でも、確実な効果が見込まれる重要な方策の一つである。「医療従事者の需給に関する検討会　医師需給分科会　第４次中間取りまとめ」において、2036年度までに必要医師数を達成するための2020年度以降の鹿児島県の不足養成数が「27人／年」と示されていること等を受けて、鹿児島県からは、令和５年度に引き続き、20名の増員が要望されている。本学の大学憲章に掲げる、「地域社会の発展と活性化に貢献する」とした社会貢献の趣旨からも、地域格差・診療間格差の是正は、県内唯一の医育機関としての使命であり、賛同するところである。また、教育環境にも大きな支障はなく、20名の確保が必要と考えている。なお、これまでも地域枠制度開始以降に、定員割れすることなく、学生を確保できている。

３．学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

令和６年度の入学定員を、令和５年度に引き続き 110 名としても、教育課程、教育方法、教員組織等を大きく変えて対処する必要はない。しかしながら、教育の内容は変化する環境や制度に合わせて改変している。

〇これまでに行っている地域医療教育としての取組

【一般入学者に行っている取組】

１）プロフェッショナリズム科目「シャドウイング」

３～４年次の見学実習「シャドウイング」では、26週間に渡って（１日／週）地域における医師の仕事、診療の理解に加え、生涯学習をする医師のキャリア形成や医療職の役割と連携を理解し、その他の体験学習、コミュニケーションや診療手技等の実習、グループ討議などを実施している。これらの学習の記録・評価にはe-ポートフォリオを用いている。

２）総合医療科目「地域・総合診療・症候」

４年生の「地域・総合診療・症候」科目では、地域医療に関して58コマの授業を行っている。内容は、地域医療の概要、医師偏在、診療科偏在、総合診療、プライマリ・ケア、地域包括医療・ケア、在宅医療、遠隔医療、社会保障制度、災害医療、さらに鹿児島県特有の離島医療などである。

３）必修臨床実習「離島・地域医療実習」

６年生の必修である、臨床実習の「離島・地域医療実習」では、鹿児島県内の離島やへき地に宿泊しながら、実際の診療環境下での診察、検査及び治療を指導者の監督指導の下に行っている（12日間）。この実習では、診療所や病院だけでなく、介護施設や、老健施設、薬局なども訪問し、多職種連携の医療現場を体験する。また、在宅医療専門医療機関での２日間の実習も全員に行っている。この他に、鹿児島市の保健師が、鹿児島市内全域で行っている住民健康教室「お達者クラブ」に参加し、保健師による住民への予防医療教育の現場を体験している。この集会において、全ての学生は住民への予防医療に関する自作の講演を行い、住民生活に密着した予防医療の話題を提供している。また、地域包括ケアに導くための、多職種連携を整理するためのツール、bio-psycho-social model及びmedical micro systemを、英文抄読から、模擬患者への応用までを一貫したグループワークで行っている。

【地域枠医学生・地域枠卒業医師に行っている取組】

鹿児島県との緊密な連携のもと、鹿児島県からの委託事業費の支援を受け、卒前地域枠学生及び地域枠卒業医師に対し、正規のカリキュラム以外に下記の取組を行っている（ 11）～14）は希望者のみ）。

１）地域医療に関する講演会（全員、数回／年：公開講座にもなっている）
２）地域医療実習発表会（全員、１回／年）
３）地域医療研究報告会（全員、１回／年）
４）新入生歓迎懇親会（全員、地域枠卒業医師）
５）知事と新入生との対面（１年生全員）
６）自治医科大学卒業医師との交流会（全員、１回／年）　（将来自治医科大学卒業医師との共同した診療を行う機会が多いために開催）
７）鹿児島県医師修学資金貸与医学生・卒業医師と、出身地首長・郡市医師会等との意見交換会（各地域の地域枠医学生全員、県内を10の地区に分け、３地区／年開催）（近年はコロナ禍により開催できていない）
８）夏季離島・へき地医療実習（１・２年生全員。夏季休業中５日間。自県自治医大学生も参加）
９）夏季地域医療研究（３年生全員。１課題／人の調査研究を夏季休業中に行う）
10）卒後のキャリアパスに関する個別面談（５・６年生全員、研修医、後期研修医）
11）地域医療教育関連シンポジウム参加（地域医療支援機構などが主催するもの）
12）県外での地域医療実習（新潟大学地域医療実習に参加）（近年はコロナ禍により開催できていない）
13）学会発表（日本医学教育学会、日本プライマリ・ケア連合学会、九州地域医療教育研究会、鹿児島救急医学会など）
14）各種地域医療関連企画への参加・発表

以上の中で、教育内容を毎年度吟味しながら、学生の教育効果の検証も行いつつ、内容の充実を図っている。これらの充実した医学教育の環境と、地域医療教育で学生を教育している。

４．２以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

本学医学部医学科は、主たるキャンパスは桜ヶ丘キャンパスとなる。ただし、１年次は共通教育科目を受講することとなり、その教育は郡元キャンパスで実施される。

両キャンパス間は、直線距離で約３㎞あり、移動に係る所要が自動車で約 15 分である。なお、両キャンパス間の交通手段としては、ＪＲ、市電、バスを利用することで容易に移動が可能である。

また、郡元キャンパスで実施する共通教育科目は、開講曜日を限定しており、同一の曜日に桜ヶ丘キャンパスでの講義を設定していないことから、同日にキャンパス間を移動することがなく履修できるように配慮した時間割となっている。

令和６年度
医学部入学定員増員計画

鹿 大 評 第 4 号
令和５年８月２１日

文部科学省高等教育局長　殿

国立大学法人鹿児島大学長
佐　野　　輝

「地域の医師確保等の観点からの令和６年度医学部入学定員の増加について（令和５年８月８日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

＜連絡先＞

責任者連絡先	職名・氏名	医歯学総合研究科等事務部総務課総務係主任・ 山本　篤
	TEL	099-275-6015（内線6014）
	FAX	099-275-6019
	E-mail	isgsoumu@kuas.kagoshima-u.ac.jp

１．地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数	20

（１）対象都道府県名及び増員希望人数

	都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県	鹿児島県	20
大学所在地以外の都道府県		
計		20

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

（２）修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R4地域枠定員（※1）	R4貸与者数（※2）	R5地域枠定員（※1）	R5貸与者数（※2）	R4とR5の貸与者数のうち多い方の数
鹿児島県	20	20	20	20	20
					0
					0
					0
					0
					0
計	20	20	20	20	20

（※1）臨時定員分のみご記入ください。
（※2）恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。
※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

（３）令和6年度地域の医師確保のための入学定員増について

１．大学が講ずる措置

１－１．地域枠学生の選抜

①**令和４年度に実施した**地域枠学生(令和５年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

<table>
<tr><th rowspan="2">名称</th><th rowspan="2">入試区分</th><th rowspan="2">選抜方式</th><th colspan="2">募集人数</th><th rowspan="2">選抜方法（※1）</th><th rowspan="2">出願要件（※1）</th><th rowspan="2">診療科の限定の有無</th><th rowspan="2">（診療科の限定（推奨）がある場合）その診療科名</th><th rowspan="2">開始年度</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th></th><th>うち臨時定員分</th></tr>
<tr><td>学校推薦型選抜Ⅱ</td><td>（ｉ）学校推薦型選抜</td><td>別枠（先行型）</td><td>20</td><td>20</td><td>大学入学共通テスト及び面接の成績、調査書並びに高等学校長の推薦書を総合判定し、選抜する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、不合格とすることがある。
<table><tr><th colspan="2">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th><th colspan="2">個別学力検査等</th></tr><tr><th>教科</th><th>科目名等</th><th>教科等</th><th>科目名等</th></tr><tr><td>国</td><td>国</td><td>その他</td><td>面接</td></tr><tr><td>地歴</td><td>世B、日B、地理B</td><td rowspan="2">から1</td><td></td><td></td></tr><tr><td>公民</td><td>倫・政経</td><td></td><td></td></tr><tr><td>数</td><td>数Ⅰ・数A</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>数Ⅱ・数B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>理</td><td>物、化、生から2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>外</td><td>英</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>〔5教科7科目〕</td><td></td><td></td></tr></table></td><td>次の各号に該当する者で、志願学部・学科等が指定する令和５年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験し、高等学校（中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が認定又は指定する在外教育施設を含む。以下同じ。）における学業成績・人物が優秀で、さらに高度の学業を修得する熱意と能力を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できるもの。
なお、過年度の大学入学共通テスト及び大学入試センター試験の成績については、令和５年度入学者選抜には利用しません。
１　対象となる高等学校の学科に在学し、令和５年３月卒業見込みの者
　ただし、医学部医学科は、鹿児島県内の高等学校に在学し、令和５年３月卒業見込みの者、又は鹿児島県内の高等学校を卒業した者
２　合格した場合は、入学することを確約できる者
３　以下の推薦要件を満たす者
【推薦要件】
（1）高等学校の学習成績概評がＡ以上で、鹿児島県における地域医療に従事しようとする強い意欲と情熱を持つ者
（2）入学後は「鹿児島県医師修学資金」の貸与と鹿児島県キャリア形成卒前支援プランの適用を受け、大学卒業後は鹿児島県キャリア形成プログラムの適用を受ける者
※医師修学資金貸与制度
鹿児島県知事が指定する医療機関等に医師として勤務しようとする者に対し、修学に必要な資金を貸与することにより、地域医療を確保することを目的とする。
※鹿児島県キャリア形成卒前支援プラン
鹿児島大学医学部の教育カリキュラムを基盤としつつ、地域医療へ貢献する意思を有する学生に対し、地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り、対象学生が学生の期間を通じて、地域医療に貢献するキャリアを描けるように支援することを目的とする。
※鹿児島県キャリア形成プログラム
医師が不足している地域における医師の確保と、対象医師の能力の開発・向上の両立を目的に、原則９年間、鹿児島県が指定するへき地を含む鹿児島県内の医療機関等で臨床研修及び就業をする。</td><td>無</td><td></td><td>H21以前</td><td></td></tr>
<tr><td>合計</td><td></td><td></td><td>20</td><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

（※1）貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②**令和５年度に実施する**地域枠学生(令和６年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。
また、参考としてPRのために作成した文書（リーフレット，ホームページ，テレビ，新聞，雑誌等）の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法（※1）	出願要件（※1）	診療科の限定の有無	（診療科の限定（推奨）がある場合）その診療科名	開始年度	備考
				うち臨時定員分						
学校推薦型選抜Ⅱ	（ｉ）学校推薦型選抜	別枠（先行型）	20	20	大学入学共通テスト及び面接の成績、調査書並びに高等学校長の推薦書を総合判定し、選抜する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、不合格とすることがある。 大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科：国 科目名等：国 教科：地歴 科目名等：世B、日B、地理B 教科：公民 科目名等：倫・政経 （地歴・公民から１） 教科：数 科目名等：数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 教科：理 科目名等：物、化、生から２ 教科：外 科目名等：英 〔５教科７科目〕 個別学力検査等 教科等：その他 科目名等：面接	次の各号に該当する者で、志願学部・学科等が指定する令和６年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験し、高等学校（中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が認定又は指定する在外教育施設を含む。以下同じ。）における学業成績・人物が優秀で、さらに高度の学業を修得する熱意と能力を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できるもの。 なお、過年度の大学入学共通テスト及び大学入試センター試験の成績については、令和６年度入学者選抜には利用しません。 １　対象となる高等学校の学科に在学し、令和６年３月卒業見込みの者 ただし、医学部医学科は、鹿児島県内の高等学校に在学し、令和６年３月卒業見込みの者、又は鹿児島県内の高等学校を卒業した者 ただし、通信制高校（通学コース※の学生は除く）においては、キャンパスの所在が鹿児島県内であり、鹿児島県内に在住のうえ、令和６年３月に卒業見込みの者、又は卒業した者 ※通信制高校の通学コースを令和６年３月卒業見込みの者、又は卒業した者が出願する場合は、事前に出願要件について問い合わせること。 ２　合格した場合は、入学することを確約できる者 ３　以下の推薦要件を満たす者 【推薦要件】 （1）高等学校の学習成績概評がＡ以上で、鹿児島県における地域医療に従事しようとする強い意欲と情熱を持つ者 （2）入学後は「鹿児島県医師修学資金」の貸与と鹿児島県キャリア形成卒前支援プランの適用を受け、大学卒業後は鹿児島県キャリア形成プログラムの適用を受ける者 ※医師修学資金貸与制度 鹿児島県知事が指定する医療機関等に医師として勤務しようとする者に対し、修学に必要な資金を貸与することにより、地域医療を確保することを目的とする制度 ※鹿児島県キャリア形成卒前支援プラン 鹿児島大学医学部の教育カリキュラムを基盤としつつ、地域医療へ貢献する意思を有する学生に対し、地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り、対象学生が学生の期間を通じて、地域医療に貢献するキャリアを描けるように支援することを目的とするプラン ※鹿児島県キャリア形成プログラム 医師が不足している地域における医師の確保と、対象医師の能力の開発・向上の両立を目的に、原則９年間、鹿児島県が指定するへき地を含む鹿児島県内の医療機関等で臨床研修及び就業をするプログラム	無		H21以前	
合計			20	20						

（※1）貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット，ホームページ，テレビ，新聞，雑誌等）に記載の内容（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

１－２．教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要（令和６年度）について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1～2年次には、夏季1週間の地域医療実習（正規科目外）を行ってきたが、R5年度から「初期地域医療実習１・2」と科目化し、将来の勤務先医療機関を直接訪問し、現場の医療を学んでいる。3年次には、夏季の地域医療研究（正規科目外）を、R5年度から「地域医療研究」として科目化し、地域医療の問題点を考え、研究テーマとして取り組む事を学んでいる。5年次には、R5年度から1年生と共に、「地域医療リーダーシップ」科目を新設して、地域のビデオを作成し視聴することで、屋根瓦式に臨床の現場や地域包括ケアを学んでいる。さらに、医学教育にVR技術を取り入れ、地域枠医学生を中心にリアルな医療現場を体験する教育を提供している。その他に、全員向けの必修科目として、「シャドウイング」「地域・総合診療・症候」「離島・地域医療実習」を実施している。

（参考：記入例）
1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和４年度からは、■■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②（過去に地域枠を設定したことがある場合）これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

H18年度から地域枠による増員（2名／年）を計画し、H21年度（7名／年）、H22年度（17名／年）、R2年度（18名／年）、R4年度（20名／年）に増員を行ってきた。R5年4月現在、これまでに278名が地域枠として入学し、123名が卒業して医師として勤務しており、その内、地方の地域中核病院に47名、離島・へき地に16名、離島・へき地での勤務に向けた研修中（総合診療的研鑽）の医師が16名である。また、すでに6名が義務期間を終えており、彼らは離島へき地での2～3年間勤務経験を持っている。

（参考：記入例）
平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■■などの取組を行ってきた。令和４年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容（正規科目）について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者（※1）	必修／選択の別		講義／実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1～2年	初期地域医療実習１	地域枠学生	必修	選択	実習	1	R5
1～2年	初期地域医療実習2	地域枠学生	必修	選択	実習	1	R5
3年	地域医療研究	地域枠学生	必修	選択	実習	0.5	R5
1年	地域医療リーダーシップ1	地域枠学生	必修	選択	講義	0.5	R5
5年	地域医療リーダーシップ2	地域枠学生	必修	選択	講義	0.5	R5
3～4年	シャドウイング	全員	必修	必修	実習	2	H21以前
4年	地域・総合診療・症候	全員	必修	必修	講義	7	H28
6年	離島・地域医療実習	全員	必修	必修	実習	3	H21以前
4～5年	地域医療リーダー育成DX演習	地域枠学生	必修	選択	実習	0.5	R5

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。（地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。）

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者（※1）	都道府県との連携	期間（例：○週間）	プログラムの概要（1～2行程度）	開始年度

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。（令和４年度以前から継続する取組を含む）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
地域医療教育講演会	地域医療の専門家を招聘し、地域医療の様々な分野について学ぶ。	H21以前
新入生歓迎懇親会	地域枠の仲間として、縦の繋がりを作る。	H26
知事と新入生との対面	知事の思いを聞き、地域枠としてのモチベーションを高める。	H29
自治医科大学卒業医師との交流会	将来共に働く自治医大出身医師との交流を図る。	H29
鹿児島県医師修学資金貸与医学生・卒業医師と、出身地首長・郡市医師会等との意見交換会	地域の行政、医師会、医師との交流により、将来の地域枠医師として働くモチベーションを高める。	H29

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

２．都道府県等との連携

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）第４条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。

なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定主体	貸与人数	貸与対象	貸与額　（例：200,000）		返還免除要件	選抜方法		診療科の限定の有無	（診療科の限定（推奨）がある場合）その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の有無（※1）			
鹿児島県	20	新入生		9,400,000	返還免除要件は、次の(1)から(3)のとおりである。 (1)業務従事期間の満了による場合【全額免除】 次の条件をすべて満たした場合、修学資金の返還債務は全額免除されます。 ①大学卒業後２年以内に医師免許を取得したこと。 ②医師免許の取得後直ちに知事が定める病院が実施する臨床研修に従事したこと。 ③上記②の臨床研修を修了後、貸与期間の２倍に相当する期間内（12年間）に、１年間知事が定める病院で実務研修に従事し、かつ、通算して６年間へき地医療機関等においてその業務に従事したこと。 (2)特定の事由により、業務の継続が困難となった場合【全額免除】 上記(1)の業務に従事している期間中に、業務により死亡し、又は業務に起因する心身の故障のため業務を継続することができなくなった場合は、修学資金の返還債務は全額免除されます。 (3)返還が免除される事由の発生による場合【全額又は一部免除】 修学生が貸与金の返還をすることとなる場合（※１）において、死亡又は心身の著しい障害その他やむを得ない事由により、貸与を受けた修学資金を返還することができなくなったときは、返還債務の全部又は一部に相当する額の免除が認められる場合があります。 （※１）修学生は、返還債務の全部を免除される場合を除き、次のいずれかに該当するに至ったとき、貸与を受けた修学資金の総額に利息を付した額を当該事由が生じた日の属する月の翌月までに一括して返還する必要があります。 ① 貸与契約の解除事項（※２）	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	○	無		奨学金の対象者となる入学者選抜を大学が行う。 総貸与額には生活費の他、入学金相当額、授業料相当額及び図書購入費を含む。学年ごとの貸与額の内訳は、以下のとおりである。 貸与額 学年 / 金額 / 内訳 第１学年 / 1,700,000円 / 授業料相当額 520,000円、生活費 900,000円、入学金相当額 280,000円 第２学年 / 1,420,000円 / 授業料相当額 520,000円、生活費 900,000円 第３学年 / 1,420,000円 / 授業料相当額 520,000円、生活費 900,000円 第４学年 / 1,620,000円 / 授業料相当額 520,000円、生活費 900,000円、図書購入費 200,000円 第５学年 / 1,620,000円 / 授業料相当額 520,000円、生活費 900,000円、図書購入費 200,000円 第６学年 / 1,620,000円 / 授業料相当額 520,000円、生活費 900,000円、図書購入費 200,000円 合計 / 9,400,000円 貸与方法ついては、毎年４回（４、７、10、１月）に分けて、以下のとおり貸与している。 貸与方法 口座振込により、毎年４回（４月、７月、10月、１月）に分けて貸与します。 貸与日 / 貸与額 / （参考）第１学年時貸与額 ４月前期授業料納入日の前日 / 入学金相当額（第１学年）＋生活費（３月分）＋授業料相当額（半期分）＋図書購入費（第４～６学年） / 765,000円 ７月末日 / 生活費（３月分） / 225,000円 10月後期授業料納入日の前日 / 生活費（３月分）＋授業料相当額（半期分） / 485,000円 １月末日 / 生活費（３月分） / 225,000円

					に該当し貸与契約を解除されたとき。 ② 上記⑴の①～③に掲げる要件のいずれかを満たすことができなかったとき。 ③ 死亡したとき（貸与契約の解除事項⑤に該当する場合を除く。）。 （※２）貸与契約の解除事項は、大学在籍中に、次のいずれかに該当すること。 ① 退学したとき。 ② 心身の故障のため修学の見込みがなくなったと認められるとき。 ③ 学業成績が著しく不良となったと認められるとき（留年等により修学の見込みがなくなったと認められるとき。）。 ④ 修学資金の貸与を受けることを辞退したとき（転学部又は転学科のときに限る。）。 ⑤ 死亡したとき。 ⑥ その他修学資金の貸与の目的を達成する見込みがなくなったと認められるとき。					

（※1）診療科の限定または推奨がある場合は、備考欄に詳細をご記入ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。（例：在学中の学生に対する都道府県と連携した相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
地域枠医師向けキャリア形成プログラム冊子発刊	地域枠医師に特化した、キャリア形成プログラムに関する紹介冊子を作製・配布	H29

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

３．その他

１～２に記入したもの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～3行程度）
特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、ご記入ください。

地域枠医学生に対し、地域医療の重要性を理解させ、地域医療を研究分野として認識することを目指して以下の事業を県との連携の下に行っている。
A. 鹿児島大学病院地域医療支援センターや鹿児島大学離島へき地医療人育成センターによる卒後のキャリアパスに関する個別面談（５・６年生全員、研修医、後期研修医）
B. 鹿児島大学離島へき地医療人育成センターによる、
・地域医療教育関連シンポジウム参加（地域医療支援機構などが主催するもの）
・県外での地域医療実習（新潟大学地域医療実習に参加）
・学会発表（日本医学教育学会、日本プライマリ・ケア連合学会、九州地域医療教育研究会、鹿児島救急医学会など）
・各種地域医療関連企画への参加・発表

大学名	国公私立
鹿児島大学	国立

1．現在（令和５年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
110	10	0	704

（収容定員計算用）

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	計
（ア）入学定員	107	107	110	110	110	110	654
（イ）2年次編入学定員	10	10	10	10	10	0	50
（ウ）3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	117	117	120	120	120	110	704

2．本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和６年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
90	10	0	590

（収容定員計算用）

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	計
（ア）入学定員	90	90	90	90	90	90	540
（イ）2年次編入学定員	10	10	10	10	10	0	50
（ウ）3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	100	100	100	100	100	90	590
（臨時的な措置で減員した場合、その人数）	0	0	0	0	0	0	

3．令和６年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
110	10	0	610

（収容定員計算用）

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	計
（ア）入学定員	110	90	90	90	90	90	560
（イ）2年次編入学定員	10	10	10	10	10	0	50
（ウ）3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	120	100	100	100	100	90	610
（臨時的な措置で減員した場合、その人数）							

増員希望人数	**20**

（内訳）

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠）	**20**
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠）	**0**
計	**20**

医　看　第　１　０　６　号
令 和 ５ 年 ８ 月 １ ４ 日
（医師・看護人材課扱い）

厚生労働省医政局長　殿

鹿児島県くらし保健福祉部長

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和５年８月８日付け５文科高第669号，医政発0807第12号に基づき，下記のとおり，令和６年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に沿って，地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

２０名

・鹿児島大学医学部における地域枠：２０名

担当：医師・看護人材課医師確保対策係　尾堂，下新原
電話番号：099-286-2653（直通）

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学部医学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通教育科目	初年次教育科目		初年次セミナーI	1前	2			○								兼13	
			初年次セミナーⅡ	1後	2			○								兼13	
			大学と地域	1前	2			○								兼5	
			体育・健康科学理論	1前	1			○								兼1	
			体育・健康科学実習	1後	1					○						兼3	
			情報活用	1前	2			○								兼1	
			小計（6科目）	－	10	0	0	－			0	0	0	0	0	兼36	
	グローバル教育科目		英語ＩA	1前	1			○								兼3	
			英語ＩB	1前	1			○								兼3	
			英語ⅡA	1後	1			○								兼2	
			英語ⅡB	1後	1			○					1			兼1	
			異文化理解入門	1前	2			○								兼5	オムニバス
			小計（5科目）	－	6	0	0	－			0	0	1	0	0	兼14	
	日本語・日本事情		日本語Ⅰ	1前			1		○							兼2	外国人留学生のみ
			日本語Ⅱ	1前			1		○							兼2	外国人留学生のみ
			日本語Ⅲ	1後			1		○							兼2	外国人留学生のみ
			日本語Ⅳ	1後			1		○							兼2	外国人留学生のみ
			日本事情A	1前			2		○							兼1	外国人留学生のみ
			日本事情B	1後			2		○							兼1	外国人留学生のみ
			小計（6科目）	－	0	0	8	－			0	0	0	0	0	兼10	
教養教育科目	教養基礎科目（人文・社会科学分野）	選択科目	現代の日本政治	1前		2		○								兼1	
			障害児教育入門	1前		2		○								兼1	
			自然学校へ行こう	1前		2		○								兼12	オムニバス
			アメーバ経営	1前		2		○								兼1	
			教育社会学入門	1前		2		○								兼1	
			行動科学	1前		2		○								兼1	
			鹿児島探訪－歴史－	1前		2		○								兼1	
			仏語入門Ⅱ	1前		1		○								兼1	
			中国語入門Ⅱ	1前		1		○								兼1	
			韓国語入門Ⅰ	1前		1		○								兼1	
			独語入門Ⅰ	1前		1		○								兼1	
			簿記入門	1前		2		○								兼1	
			中国語入門Ⅰ	1前		1		○								兼1	
			独語入門Ⅱ	1後		1		○								兼1	
			古代東アジアの王陵	1前		2		○								兼1	
			貞観政要を読む―帝王学入門―	1前		2		○								兼1	
			韓国語入門Ⅱ	1前		1		○								兼1	
			人間と環境の心理学	1前		2		○								兼1	
			稲盛和夫の経営哲学（Ⅰ）	1前		2		○								兼1	
			稲盛和夫のベンチャー企業論	1前		2		○								兼2	オムニバス
			美術への誘い	1前		2		○								兼5	集中、オムニバス
			医学・行動心理学入門	1前		2				○	3		3	2		兼2	集中、共同
			実験医学・行動心理学	1前		2				○	3		3	2		兼2	集中、共同
			自然学校へ行こう　実践編Ⅰ	1前		2				○						兼1	集中
			方言コンテンツを作ろう	1前		2		○								兼1	集中
			How Language and Music Influences Society	1前		2		○								兼1	
			知的財産制度の基礎	1後		2		○								兼1	
			現代社会を考える	1後		2		○								兼1	
			行動科学	1後		2		○								兼1	
			コーポレート・ファイナンス	1後		2		○								兼1	
			社会学の世界	1後		2		○								兼1	
			文化人類学の世界	1後		2		○								兼1	
			障害児教育入門	1前		2		○								兼1	
			現代哲学入門	1後		2		○								兼1	
			中国文学の世界	1後		2		○								兼1	
			鹿児島探訪－歴史－	1後		2		○								兼1	
			グローバル人材育成（雲南）	1後		2				○						兼13	集中、共同

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
			自然学校へ行こう　実践編Ⅱ	1後		2				○						兼1	集中
			戦後日本外交史	1後		2		○								兼1	
			稲盛和夫の経営哲学（Ⅱ）	1後		2		○								兼1	
			アメーバ経営	1後		2		○								兼1	
			陽明学入門	1後		2		○								兼1	
			韓国語入門Ⅰ	1後		1		○								兼1	
			仏語入門Ⅰ	1後		1		○								兼1	
			中国語入門Ⅰ	1後		1		○								兼1	
			中国語入門Ⅱ	1後		1		○								兼1	
			韓国語入門Ⅱ	1後		1		○								兼1	
			方言学入門	1後		2		○								兼1	
			日本国憲法	1後		2		○								兼1	
			「起業」－ビジネスの発見と創出	1後		2		○								兼1	
			大人になるための政治学	1後		2		○								兼1	
			小計（51科目）	－	0	90	0	－			6	0	6	4	0	兼81	
	教養基礎科目（自然科学分野）	選択科目	遺伝のしくみ	1前		2		○								兼2	オムニバス
			焼酎	1前		2		○								兼13	オムニバス
			理系ジャーナリズム	1前		2		○								兼6	オムニバス
			教養の物理学入門	1前		2		○								兼1	
			宇宙のすがた	1前		2		○								兼1	
			暮らしの中のバイオ	1前		2		○								兼15	オムニバス
			動物の病気	1前		2		○								兼15	オムニバス
			初心者のためのサバイバル生物学	1前		2		○								兼1	
			脳と心の生物学	1前		2		○			5	1	2	3			オムニバス
			生物学入門	1前		2		○								兼1	
			教養微分積分学	1前		2		○								兼1	
			鹿児島の自然史	1前		2		○								兼1	
			乗り物の物理学	1前		2		○								兼1	
			遊び心と科学	1後		2		○								兼1	
			食品・化粧品・医薬品の有機化学	1後		2		○								兼1	
			化学と環境	1後		2		○								兼1	
			生化学実験Ⅰ	1後		2				○	1			1			共同
			生命科学情報活用１	1後		2		○			1			1			共同
			電気電子工学入門	1後		2		○								兼3	オムニバス
			焼酎	1後		2		○								兼13	オムニバス
			情報セキュリティ入門	1後		2		○								兼1	
			動物の感覚・脳・行動	1後		2		○			2		1			兼11	オムニバス
			家畜の歴史	1後		2		○								兼1	
			世界を変えた有機分子	1後		2		○								兼1	
			くらしの化学	1後		2		○								兼1	
			小計（25科目）	－	0	50	0	－			9	1	3	5	0	兼92	
	教養活用科目（統合Ⅰ）	課題発見	九州学（歴史・文化）	1前		2		○								兼11	集中
			キャリアデザイン	1前		2		○								兼7	オムニバス、共同(一部)
			キャリアデザイン	1前		2		○								兼1	集中
			地域コミュニティ論	1前		2		○								兼1	
			大学で学ぶ	1前		2		○								兼3	オムニバス
			いのちと地域を守る防災学Ⅰ	1前		2		○			1					兼12	オムニバス
			Intercultural Understanding and Acceptance	1前		2		○								兼1	
			進取の精神を学ぶ	1前		2		○								兼5	オムニバス
			稲盛哲学：稲盛研究の最高峰が伝授	1前		2		○								兼5	集中、オムニバス
			自然体験活動入門講座	1前		2		○								兼2	集中、オムニバス
			かごしま教養プログラム	1前		2		○								兼2	集中、共同
			倫理学入門	1前		2		○								兼1	
			地域防災学実践	1前		2		○								兼4	集中、オムニバス
			人生における出会いの意義と役割	1後		2		○								兼1	
			身近な話題の生物学	1後		2		○								兼1	
			防災フィールドワーク	1後		2		○								兼2	集中
			九州学（自然）	1後		2		○								兼10	集中、オムニバス

科目区分				授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	授業形態 講義	演習	実験・実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
				地域リサーチ・スタートアップ	1後		2		○								兼7	オムニバス
				キャリアデザイン	1後		2		○								兼6	オムニバス、共同（一部）
				身の周りの男女共同参画	1後		2		○			1	1				兼2	オムニバス
				手話入門	1後		2		○								兼4	オムニバス
				Intercultural Communication for Global Citizens	1後		2		○								兼1	
				小計（22科目）	－	0	44	0	－			2	1	0	0	0	兼89	
		教養活用科目（統合Ⅱ）	課題解決	稲盛和夫のリーダー論	1前		2		○								兼1	
				鹿児島探訪－文化－	1前		2		○								兼2	オムニバス
				南太平洋多島域	1前		2		○								兼5	オムニバス
				環境と進化の科学	1前		2		○								兼1	
				がんはなぜおこるのか：がんとの共生	1前		2		○			7	3		1		兼4	オムニバス
				有機農業Ⅰ　新しい食と農のかたち	1前		2		○								兼13	オムニバス
				地域環境論	1前		2		○								兼4	オムニバス
				最先端医療を創出するバイオ研究	1前		2		○			3	1		1		兼4	オムニバス
				奄美の民俗文化	1前		2		○								兼1	
				自然学校実務研修Ⅰ	1前		2				○						兼1	集中
				進取の精神海外研修inベトナム	1前		2		○								兼4	集中、オムニバス、共同（一部）
				農家民泊体験講座	1前		2		○								兼1	集中
				屋久島の環境文化Ⅱ－生き物－	1前		2		○								兼2	集中、オムニバス、共同（一部）
				かごしまフィールドスクール	1前		2		○								兼2	集中、オムニバス、共同（一部）
				島のしくみ	1後		2		○								兼5	集中、共同
				派遣留学Ⅰ	1前		1		○								兼1	集中
				派遣留学Ⅱ	1後		1			○							兼2	集中、オムニバス、共同（一部）
				屋久島の環境文化Ⅲ－産業－	1前		2		○								兼2	集中、オムニバス、共同（一部）
				屋久島の環境文化Ⅳ－生活と文化－	1後		2		○								兼1	集中
				屋久島の環境文化Ⅰ－植生－	1前		2		○								兼2	集中、オムニバス、共同（一部）
				派遣留学Ⅰ	1後		1		○								兼1	集中
				価値創造の場	1後		2		○								兼2	共同（一部）
				実験医学・脳科学	1後		2		○					1	1			共同
				奄美の民俗文化	1後		2		○								兼1	
				医学・脳科学入門	1後		2		○					1	1			共同
				口と顔の科学	1前		2		○								兼15	オムニバス
				口と顔の科学	1後		2		○								兼15	オムニバス
				自然学校実務研修Ⅱ	1後		2				○						兼1	集中
				森・ひと・体験	1後		2				○						兼1	集中
				国際感覚を持つバイテク人材育成	1後		2		○								兼9	集中
				宇宙・地球における計測・計量	1後		2		○								兼1	
				自然環境保全と世界遺産	1後		2		○								兼1	
				いのちと地域を守る防災学Ⅱ	1後		2		○			1					兼11	オムニバス
				自己理解・他者理解と障害理解	1後		2				○						兼1	集中、共同（一部）
				ピアカウンセリング入門	1後		2		○								兼1	
				小計（35科目）	－	0	67	0	－			11	4	2	4	0	兼118	
計（150科目）					－	16	251	8	－			28	6	12	13	0	兼440	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学部医学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門教育科目	医学概説学	医学導入科目	物理学基礎	1後	2			○								兼1	
			医学総合実習	1前	1					○	3	1		1		兼1	集中、オムニバス・共同（一部）
			生命科学(疾病と基礎医学)	1前	2			○			4	2		1		兼1	オムニバス
			医学生物学(生物学基礎と発生学)	1後	2			○			3	1		1		兼2	オムニバス
			生化学	1前・後	7			○		※	2	1		3		兼2	オムニバス・共同（一部）、※実習
			小計（5科目）	－	14	0	0	－			12	5	0	6	0	兼7	
	疾病病因学	医学医療基礎科目	生理	2前	7			○		※	3		3	2			集中、オムニバス、共同（一部）、※実習
			解剖学Ⅰ	2前	4			※		○	1	1		1			集中、オムニバス、共同（一部）※講義
			遺伝	2後	1			○		※	1			2		兼1	オムニバス、共同（一部）、※実習
			免疫	2後	3			○			1		1	2		兼3	集中、オムニバス
			解剖学Ⅱ	2前	7			※		○	2			3			集中、オムニバス、共同（一部）、※講義
			微生物	2後	5			○		※	3	1		1		兼1	集中、オムニバス、共同（一部）※実習
			病理	2後	3			○		※	1	1		2		兼2	集中、オムニバス、共同（一部）※実習
			薬理	2後	4			○		※	1	2	2			兼3	集中、オムニバス、共同（一部）※実習
			診断治療基礎	2後	3			○			2	3	1	3		兼6	集中、オムニバス
			小計（9科目）	－	37	0	0	－			15	8	7	16	0	兼16	
	疾病病態学	総合医療科目	消化器	3前	7			○		※	3	2	2	5		兼21	集中、オムニバス、※実習
			循環器	3前	6			○		※	3	1	4	5		兼11	集中、オムニバス、※実習
			呼吸器	3前	4			○		※	3	2	1	1		兼18	集中、オムニバス、※実習
			内分泌・代謝・栄養	3前	4			○		※	4	1	2	1		兼8	集中、オムニバス、※実習
			腎尿路	3前	3			○		※	4	1	1	5		兼6	集中、オムニバス、※実習
			精神	3後	3			○			2			5		兼8	集中、オムニバス
			神経・運動器	3後	4			○		※	4	2	1	5		兼16	集中、オムニバス、※実習
			感覚器	3前	3			○			3	3		3		兼22	集中、オムニバス
			生殖・乳房	3後	4			○		※	4	1		1		兼8	集中、オムニバス、※実習
			発生・発達	3後	4			○			4	1	1	4		兼18	集中、オムニバス
			感染症	3後	3			○			2	3		1		兼1	集中、オムニバス
			血液・腫瘍	3後	3			○			9	2				兼9	集中、オムニバス、共同（一部）
			麻酔・集中治療・救急	4前	3			○			2		1			兼7	集中、オムニバス
			免疫・アレルギー・膠原病	4前	2			○			3	2				兼8	集中、オムニバス
			リハビリテーション・老化・終末期医療	4前	3			○			1	2		2		兼10	集中、オムニバス、共同（一部）
			新興・再興感染症	4後	1			○	※		7	1		1		兼6	集中、オムニバス、共同（一部）、※演習
			補完医療	3後	0.5			○	※		1	1	2			兼10	集中、オムニバス、共同（一部）、※演習
			社会医学・予防医学	4前	8			○	※		3		2	4		兼8	集中、オムニバス、共同（一部）、※演習
			医療情報・検査	4前	1			○			1	1		2		兼2	集中、オムニバス
			地域・総合診療・症候	4前	7			○			4	5		6		兼13	集中、オムニバス
			小計（20科目）	－	73.5	0	0	－			67	31	17	51	0	兼210	
		プロフェッショナリ	患者と医療	1前・後	2			○			2	1		1			オムニバス
			医学英語Ⅰ	1後	1			○					1				
			生命倫理・研究倫理	2前	0.5			○			4					兼1	オムニバス
			医学英語Ⅱ	2前	1			○					1				
			チーム医療１	2後	2			※		○	5	1		3		兼7	オムニバス、共同（一部）、※講義
			医療面接１	3前	1			※		○	1			1			集中、オムニバス、共同（一部）※講義
			診療手技１	3前	2			※		○	1			2		兼4	集中、オムニバス、共同（一部）、※講義
			医療倫理	3前	0.5			○			1	2	1	1		兼6	オムニバス、共同（一部）
			シャドウイング	3後･4前	2			※		○	4					兼3	オムニバス、※講義

医学実践学	ズム科目	医療面接２	4前	0.5			※		○	1	1	1	1		兼3	集中、オムニバス、共同（一部）、※講義
		チーム医療２	4後	2			※		○	8			3		兼6	集中、オムニバス、共同（一部）、※講義
		診療手技２	4前・後	4			※		○	3		1	2		兼3	集中、オムニバス、共同（一部）、※講義
		医学英語Ⅲ	2後			1	○								兼1	
		小計（13科目）	－	18.5	0	1	－			30	5	5	14	0	兼34	
	医学研究科目	医学統計学	1後	2			○		※	2		2	1			オムニバス、共同（一部）、※演習
		自主研究	4後	4				○		38	21	20	61			共同
		自主研究A	1前・後			2		○		38	21	20	61			共同
		自主研究B	2前・後			2		○		38	21	20	61			共同
		自主研究C	3前・後			2		○		38	21	20	61			共同
		自主研究D	4前・後			2		○		38	21	20	61			共同
		自主研究E	5前・後			2		○		38	21	20	61			共同
		自主研究F	6前・後			2		○		38	21	20	61			共同
		小計（8科目）	－	6	0	12	－			268	147	142	428	0		
	地域医療科目	初期地域医療実習1(選択)	1前			1			○	1	1		3			
		初期地域医療実習2(選択)	2前			1			○	1	1		3			
		地域医療研究(選択)	3前			0.5	○	※		1	1		3			※演習
		地域医療リーダーシップ1(選択)	1後			0.5			○	1	1		3			
		地域医療リーダーシップ2(選択)	5後			0.5			○	1	1		3			
		地域医療リーダー育成DX演習(選択)	5前・後			0.5			○	1	1		3			
		小計（6科目）	－	0	0	4	－			6	6	0	18	0		
臨床実践学	臨床実習	臨床実習	4後～5後	48					○	23	13	12	37		兼100	
		選択実習	5後・6前	15					○	25	15	12	42		兼101	
		離島・地域医療実習	5後・6前	3					○	1	1		2		兼32	
		小計（3科目）	－	66	0	0	－			49	29	24	81	0	兼233	
	総合講義	総合講義	6前	2			○			30						集中、オムニバス
		小計（1科目）	－	2	0	0	－			30	0	0	0	0		
計（65科目）			－	217	0	17	－			477	231	195	614	0	兼500	
合計（215科目）			－	233	251	25	－			505	237	207	627	0	兼940	

学位又は称号	学士（医学）	学位又は学科の分野	医学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
１．共通教育科目　26単位以上 （１）必修科目　16単位 初年次教育科目　10単位 グローバル教育科目　6単位 （２）選択必修科目　10単位 教養基礎科目　6単位 教養活用科目　4単位 ２．専門教育科目　217単位 （１）医学概説学 医学導入科目　14単位 疾病病因学 医学医療基礎科目　37単位 疾病病態学 総合医療科目 医学実践学　73.5単位 総合医療科目 医学実践学 ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾘｽﾞﾑ科目　18.5単位 医学研究科目　6単位 臨床実践学 臨床実習　66単位 総合講義　2単位 卒業要件単位数　243単位	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	26週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学部医学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通教育科目	初年次教育科目		初年次セミナーI	1前	2			○								兼13	
			初年次セミナーII	1後	2			○								兼13	
			大学と地域	1前	2			○								兼5	
			体育・健康科学理論	1前	1			○								兼1	
			体育・健康科学実習	1後	1					○						兼3	
			情報活用	1前	2			○								兼1	
			小計（6科目）	－	10	0	0	－			0	0	0	0	0	兼36	
	グローバル教育科目		英語ＩA	1前	1			○								兼3	
			英語ＩB	1前	1			○								兼3	
			英語IIA	1後	1			○								兼2	
			英語IIB	1後	1			○					1			兼1	
			異文化理解入門	1前	2			○								兼5	オムニバス
			小計（5科目）	－	6	0	0	－			0	0	1	0	0	兼14	
	日本語・日本事情		日本語Ｉ	1前			1		○							兼2	外国人留学生のみ
			日本語II	1前			1		○							兼2	外国人留学生のみ
			日本語III	1後			1		○							兼2	外国人留学生のみ
			日本語IV	1後			1		○							兼2	外国人留学生のみ
			日本事情A	1前			2		○							兼1	外国人留学生のみ
			日本事情B	1後			2		○							兼1	外国人留学生のみ
			小計（6科目）	－	0	0	8	－			0	0	0	0	0	兼10	
教養教育科目	教養基礎科目（人文・社会科学分野）	選択科目	現代の日本政治	1前		2		○								兼1	
			障害児教育入門	1前		2		○								兼1	
			自然学校へ行こう	1前		2		○								兼12	オムニバス
			アメーバ経営	1前		2		○								兼1	
			教育社会学入門	1前		2		○								兼1	
			行動科学	1前		2		○								兼1	
			鹿児島探訪－歴史－	1前		2		○								兼1	
			仏語入門II	1前		1		○								兼1	
			中国語入門II	1前		1		○								兼1	
			韓国語入門Ｉ	1前		1		○								兼1	
			独語入門Ｉ	1前		1		○								兼1	
			簿記入門	1前		2		○								兼1	
			中国語入門Ｉ	1前		1		○								兼1	
			独語入門II	1後		1		○								兼1	
			古代東アジアの王陵	1前		2		○								兼1	
			貞観政要を読む―帝王学入門―	1前		2		○								兼1	
			韓国語入門II	1前		1		○								兼1	
			人間と環境の心理学	1前		2		○								兼1	
			稲盛和夫の経営哲学（Ｉ）	1前		2		○								兼1	
			稲盛和夫のベンチャー企業論	1前		2		○								兼2	オムニバス
			美術への誘い	1前		2		○								兼5	集中、オムニバス
			医学・行動心理学入門	1前		2				○	3		3	2		兼2	集中、共同
			実験医学・行動心理学	1前		2				○	3		3	2		兼2	集中、共同
			自然学校へ行こう　実践編Ｉ	1前		2				○						兼1	集中
			方言コンテンツを作ろう	1前		2		○								兼1	集中
			How Language and Music Influences Society	1前		2		○								兼1	
			知的財産制度の基礎	1後		2		○								兼1	
			現代社会を考える	1後		2		○								兼1	
			行動科学	1後		2		○								兼1	
			コーポレート・ファイナンス	1後		2		○								兼1	
			社会学の世界	1後		2		○								兼1	
			文化人類学の世界	1後		2		○								兼1	
			障害児教育入門	1前		2		○								兼1	
			現代哲学入門	1後		2		○								兼1	
			中国文学の世界	1後		2		○								兼1	
			鹿児島探訪－歴史－	1後		2		○								兼1	
			グローバル人材育成（雲南）	1後		2				○						兼13	集中、共同

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
			自然学校へ行こう　実践編Ⅱ	1後		2				○						兼1	集中
			戦後日本外交史	1後		2		○								兼1	
			稲盛和夫の経営哲学（Ⅱ）	1後		2		○								兼1	
			アメーバ経営	1後		2		○								兼1	
			陽明学入門	1後		2		○								兼1	
			韓国語入門Ⅰ	1後		1		○								兼1	
			仏語入門Ⅰ	1後		1		○								兼1	
			中国語入門Ⅰ	1後		1		○								兼1	
			中国語入門Ⅱ	1後		1		○								兼1	
			韓国語入門Ⅱ	1後		1		○								兼1	
			方言学入門	1後		2		○								兼1	
			日本国憲法	1後		2		○								兼1	
			「起業」－ビジネスの発見と創出	1後		2		○								兼1	
			大人になるための政治学	1後		2		○								兼1	
			小計（51科目）	－	0	90	0	－			6	0	6	4	0	兼81	
	教養基礎科目（自然科学分野）	選択科目	遺伝のしくみ	1前		2		○								兼2	オムニバス
			焼酎	1前		2		○								兼13	オムニバス
			理系ジャーナリズム	1前		2		○								兼6	オムニバス
			教養の物理学入門	1前		2		○								兼1	
			宇宙のすがた	1前		2		○								兼1	
			暮らしの中のバイオ	1前		2		○								兼15	オムニバス
			動物の病気	1前		2		○								兼15	オムニバス
			初心者のためのサバイバル生物学	1前		2		○								兼1	
			脳と心の生物学	1前		2		○			5	1	2	3			オムニバス
			生物学入門	1前		2		○								兼1	
			教養微分積分学	1前		2		○								兼1	
			鹿児島の自然史	1前		2		○								兼1	
			乗り物の物理学	1前		2		○								兼1	
			遊び心と科学	1後		2		○								兼1	
			食品・化粧品・医薬品の有機化学	1後		2		○								兼1	
			化学と環境	1後		2		○								兼1	
			生化学実験Ⅰ	1後		2				○	1			1			共同
			生命科学情報活用１	1後		2		○			1			1			共同
			電気電子工学入門	1後		2		○								兼3	オムニバス
			焼酎	1後		2		○								兼13	オムニバス
			情報セキュリティ入門	1後		2		○								兼1	
			動物の感覚・脳・行動	1後		2		○			2		1			兼11	オムニバス
			家畜の歴史	1後		2		○								兼1	
			世界を変えた有機分子	1後		2		○								兼1	
			くらしの化学	1後		2		○								兼1	
			小計（25科目）	－	0	50	0	－			9	1	3	5	0	兼92	
	教養活用科目（統合Ⅰ）	課題発見	九州学（歴史・文化）	1前		2		○								兼11	集中
			キャリアデザイン	1前		2		○								兼7	オムニバス、共同(一部)
			キャリアデザイン	1前		2		○								兼1	集中
			地域コミュニティ論	1前		2		○								兼1	
			大学で学ぶ	1前		2		○								兼3	オムニバス
			いのちと地域を守る防災学Ⅰ	1前		2		○			1					兼12	オムニバス
			Intercultural Understanding and Acceptance	1前		2		○								兼1	
			進取の精神を学ぶ	1前		2		○								兼5	オムニバス
			稲盛哲学：稲盛研究の最高峰が伝授	1前		2		○								兼5	集中、オムニバス
			自然体験活動入門講座	1前		2		○								兼2	集中、オムニバス
			かごしま教養プログラム	1前		2		○								兼2	集中、共同
			倫理学入門	1前		2		○								兼1	
			地域防災学実践	1前		2		○								兼4	集中、オムニバス
			人生における出会いの意義と役割	1後		2		○								兼1	
			身近な話題の生物学	1後		2		○								兼1	
			防災フィールドワーク	1後		2		○								兼2	集中
			九州学（自然）	1後		2		○								兼10	集中、オムニバス

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
			地域リサーチ・スタートアップ	1後		2		○								兼7	オムニバス
			キャリアデザイン	1後		2		○								兼6	オムニバス、共同（一部）
			身の周りの男女共同参画	1後		2		○			1	1				兼2	オムニバス
			手話入門	1後		2		○								兼4	オムニバス
			Intercultural Communication for Global Citizens	1後		2		○								兼1	
			小計（22科目）	－	0	44	0		－		2	1	0	0	0	兼89	
		教養活用科目（統合Ⅱ） 課題解決	稲盛和夫のリーダー論	1前		2		○								兼1	
			鹿児島探訪－文化－	1前		2		○								兼2	オムニバス
			南太平洋多島域	1前		2		○								兼5	オムニバス
			環境と進化の科学	1前		2		○								兼1	
			がんはなぜおこるのか：がんとの共生	1前		2		○			7	3		1		兼4	オムニバス
			有機農業Ⅰ　新しい食と農のかたち	1前		2		○								兼13	オムニバス
			地域環境論	1前		2		○								兼4	オムニバス
			最先端医療を創出するバイオ研究	1前		2		○			3	1		1		兼4	オムニバス
			奄美の民俗文化	1前		2		○								兼1	
			自然学校実務研修Ⅰ	1前		2				○						兼1	集中
			進取の精神海外研修inベトナム	1前		2		○								兼4	集中、オムニバス、共同（一部）
			農家民泊体験講座	1前		2		○								兼1	集中
			屋久島の環境文化Ⅱ－生き物－	1前		2		○								兼2	集中、オムニバス、共同（一部）
			かごしまフィールドスクール	1前		2		○								兼2	集中、オムニバス、共同（一部）
			島のしくみ	1後		2		○								兼5	集中、共同
			派遣留学Ⅰ	1前		1		○								兼1	集中
			派遣留学Ⅱ	1後		1			○							兼2	集中、オムニバス、共同（一部）
			屋久島の環境文化Ⅲ－産業－	1前		2		○								兼2	集中、オムニバス、共同（一部）
			屋久島の環境文化Ⅳ－生活と文化－	1後		2		○								兼1	集中
			屋久島の環境文化Ⅰ－植生－	1前		2		○								兼2	集中、オムニバス、共同（一部）
			派遣留学Ⅰ	1後		1		○								兼1	集中
			価値創造の場	1後		2		○								兼2	共同（一部）
			実験医学・脳科学	1後		2		○					1	1			共同
			奄美の民俗文化	1後		2		○								兼1	
			医学・脳科学入門	1後		2		○					1	1			共同
			ロと顔の科学	1前		2		○								兼15	オムニバス
			ロと顔の科学	1後		2		○								兼15	オムニバス
			自然学校実務研修Ⅱ	1後		2				○						兼1	集中
			森・ひと・体験	1後		2				○						兼1	集中
			国際感覚を持つバイテク人材育成	1後		2		○								兼9	集中
			宇宙・地球における計測・計量	1後		2		○								兼1	
			自然環境保全と世界遺産	1後		2		○								兼1	
			いのちと地域を守る防災学Ⅱ	1後		2		○			1					兼11	オムニバス
			自己理解・他者理解と障害理解	1後		2				○						兼1	集中、共同（一部）
			ピアカウンセリング入門	1後		2		○								兼1	
			小計（35科目）	－	0	67	0		－		11	4	2	4	0	兼118	
計（150科目）				－	16	251	8		－		28	6	12	13	0	兼440	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学部医学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手		備考
専門教育科目	医学概説学	医学導入科目	物理学基礎	1後	2			○								兼1	
			医学総合実習	1前	1					○	3	1		1		兼1	集中、オムニバス・共同（一部）
			生命科学(疾病と基礎医学)	1前	2			○			4	2		1		兼1	オムニバス
			医学生物学(生物学基礎と発生学)	1後	2			○			3	1		1		兼2	オムニバス
			生化学	1前・後	7			○		※	2	1		3		兼2	オムニバス・共同（一部）、※実習
			小計（5科目）	－	14	0	0	－			12	5	0	6	0	兼7	
	疾病病因学	医学医療基礎科目	生理	2前	7			○		※	3		3	2			集中、オムニバス、共同（一部）、※実習
			解剖学Ⅰ	2前	4			※		○	1	1		1			集中、オムニバス、共同（一部）※講義
			遺伝	2後	1			○		※	1			2		兼1	オムニバス、共同（一部）、※実習
			免疫	2後	3			○			1		1	2		兼3	集中、オムニバス
			解剖学Ⅱ	2前	7			※		○	2			3			集中、オムニバス、共同（一部）、※講義
			微生物	2後	5			○		※	3	1		1		兼1	集中、オムニバス、共同（一部）※実習
			病理	2後	3			○		※	1	1		2		兼2	集中、オムニバス、共同（一部）※実習
			薬理	2後	4			○		※	1	2	2			兼3	集中、オムニバス、共同（一部）※実習
			診断治療基礎	2後	3			○			2	3	1	3		兼6	集中、オムニバス
			小計（9科目）	－	37	0	0	－			15	8	7	16	0	兼16	
	疾病病態学	総合医療科目	消化器	3前	7			○		※	3	2	2	5		兼21	集中、オムニバス、※実習
			循環器	3前	6			○		※	3	1	4	5		兼11	集中、オムニバス、※実習
			呼吸器	3前	4			○		※	3	2	1	1		兼18	集中、オムニバス、※実習
			内分泌・代謝・栄養	3前	4			○		※	4	1	2	1		兼8	集中、オムニバス、※実習
			腎尿路	3前	3			○		※	4	1	1	5		兼6	集中、オムニバス、※実習
			精神	3後	3			○			2			5		兼8	集中、オムニバス
			神経・運動器	3後	4			○		※	4	2	1	5		兼16	集中、オムニバス、※実習
			感覚器	3前	3			○			3	3		3		兼22	集中、オムニバス
			生殖・乳房	3後	4			○		※	4	1		1		兼8	集中、オムニバス、※実習
			発生・発達	3後	4			○			4	1	1	4		兼18	集中、オムニバス
			感染症	3後	3			○			2	3		1		兼1	集中、オムニバス
			血液・腫瘍	3後	3			○			9	2				兼9	集中、オムニバス、共同（一部）
			麻酔・集中治療・救急	4前	3			○			2		1			兼7	集中、オムニバス
			免疫・アレルギー・膠原病	4前	2			○			3	2				兼8	集中、オムニバス
			リハビリテーション・老化・終末期医療	4前	3			○			1	2		2		兼10	集中、オムニバス、共同（一部）
			新興・再興感染症	4後	1			○	※		7	1		1		兼6	集中、オムニバス、共同（一部）、※演習
			補完医療	3後	0.5			○	※		1	1	2			兼10	集中、オムニバス、共同（一部）、※演習
			社会医学・予防医学	4前	8			○	※		3		2	4		兼8	集中、オムニバス、共同（一部）、※演習
			医療情報・検査	4前	1			○			1	1		2		兼2	集中、オムニバス
			地域・総合診療・症候	4前	7			○			4	5		6		兼13	集中、オムニバス
			小計（20科目）	－	73.5	0	0	－			67	31	17	51	0	兼210	
		プロフェッショナリ	患者と医療	1前・後	2			○			2	1		1			オムニバス
			医学英語Ⅰ	1後	1			○					1				
			生命倫理・研究倫理	2前	0.5			○			4					兼1	オムニバス
			医学英語Ⅱ	2前	1			○					1				
			チーム医療１	2後	2			※		○	5	1		3		兼7	オムニバス、共同（一部）、※講義
			医療面接１	3前	1			※		○	1			1			集中、オムニバス、共同（一部）※講義
			診療手技１	3前	2			※		○	1			2		兼4	集中、オムニバス、共同（一部）、※講義
			医療倫理	3前	0.5			○			1	2	1	1		兼6	オムニバス、共同（一部）
			シャドウイング	3後･4前	2			※		○	4					兼3	オムニバス、※講義

医学実践学	ズム科目	医療面接２	4前	0.5			※		○	1	1	1	1		兼3	集中、オムニバス、共同（一部）、※講義
		チーム医療２	4後	2			※		○	8			3		兼6	集中、オムニバス、共同（一部）、※講義
		診療手技２	4前・後	4			※		○	3		1	2		兼3	集中、オムニバス、共同（一部）、※講義
		医学英語Ⅲ	2後			1	○								兼1	
		小計（13科目）	－	18.5	0	1	－			30	5	5	14	0	兼34	
	医学研究科目	医学統計学	1後	2			○		※	2		2	1			オムニバス、共同（一部）、※演習
		自主研究	4後	4				○		38	21	20	61			共同
		自主研究A	1前・後			2		○		38	21	20	61			共同
		自主研究B	2前・後			2		○		38	21	20	61			共同
		自主研究C	3前・後			2		○		38	21	20	61			共同
		自主研究D	4前・後			2		○		38	21	20	61			共同
		自主研究E	5前・後			2		○		38	21	20	61			共同
		自主研究F	6前・後			2		○		38	21	20	61			共同
		小計（8科目）	－	6	0	12	－			268	147	142	428	0		
	地域医療科目	初期地域医療実習1(選択)	1前			1			○	1	1		3			
		初期地域医療実習2(選択)	2前			1			○	1	1		3			
		地域医療研究(選択)	3前			0.5	○	※		1	1		3			※演習
		地域医療リーダーシップ1(選択)	1後			0.5			○	1	1		3			
		地域医療リーダーシップ2(選択)	5後			0.5			○	1	1		3			
		地域医療リーダー育成DX演習(選択)	5前・後			0.5			○	1	1		3			
		小計（6科目）	－	0	0	4	－			6	6	0	18	0		
臨床実践学	臨床実習	臨床実習	4後～5後	48					○	23	13	12	37		兼100	
		選択実習	5後・6前	15					○	25	15	12	42		兼101	
		離島・地域医療実習	5後・6前	3					○	1	1		2		兼32	
		小計（3科目）	－	66	0	0	－			49	29	24	81	0	兼233	
	総合講義	総合講義	6前	2			○			30						集中、オムニバス
		小計（1科目）	－	2	0	0	－			30	0	0	0	0		
計（65科目）			－	217	0	17	－			477	231	195	614	0	兼500	
合計（215科目）			－	233	251	25	－			505	237	207	627	0	兼940	

学位又は称号	学士（医学）	学位又は学科の分野	医学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
１．共通教育科目　26単位以上 （１）必修科目　16単位 初年次教育科目　10単位 グローバル教育科目　6単位 （２）選択必修科目　10単位 教養基礎科目　6単位 教養活用科目　4単位 ２．専門教育科目　217単位 （１）医学概説学 医学導入科目　14単位 疾病病因学 医学医療基礎科目　37単位 疾病病態学 総合医療科目 医学実践学　73.5単位 総合医療科目 医学実践学 ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾘｽﾞﾑ科目　18.5単位 医学研究科目　6単位 臨床実践学 臨床実習　66単位 総合講義　2単位 卒業要件単位数　243単位	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	26週
	１時限の授業時間	90分